

大木ヘルスケアHD 秋冬用提案商談会

ペットヘルスケアなど拡充

得意先によりリアルとリモート選別

大木ヘルスケアホールディングスは7月1日から8月31日まで「OHKI秋冬用カテゴリー提案商談会」を実施している。前回の春夏用同様、動画によるリモート商談と、その動画を活用した得意先でのリアル商談と、先でのリアル商談と、企業に応じて選択できるようにしている。期間中の7月9日、報道

関係者に向けオンラインで説明会を開催。松井秀正社長、板本敦志商談会実行委員長が概要を説明した。多種多様なカテゴリーや商品のきめ細かい提案が、同社の商談の特長である中、市場拡大のポイントとして挙げているのが「コンタクトレンズ」「補聴器」「ペットヘルスケア」



松井社長の概要を説明する提案会

松井社長から、ドラッグストアでの構成比が高くないコンタクトレンズ、補聴器の拡販を進める。ペット分野は、ドラッグストアでの取り扱いも定着してきたフリードに加え、動物用医薬品や、免疫を高める乳酸菌などのサプリメントの延伸につながるオンラインケア用品など細分化したニーズを掘り起こす(同社)ことで実現を目指す。

その他、ウィズコロナに対応した自宅療養シーンに合わせた各種除菌用品や「マスクシンドローム」対策品、おうち時間の増加で市場が拡大する園芸用品などを独自の観点で提案する。松井社長は商談会について「最近では、ドラッグストアだけでなく、様々な業種の企業と取引をしているので、それぞれに合わせた提案の仕方を変えている。当社としても、ドラッグストア業態卸からヘルスケアの専門メーカーとしての生まれ変わろうとしている。コロナ以前から人口減少など社会構造の変化があり、ドラッグストア始め小売業のあるべき姿、必要な商品群を改めて提案していきたい」と方向性を示した。

の分野。ドラッグストア業界の2020年の売上高8兆400億円